

YCだより

YC(読売新聞販売店)より耳寄りな情報をお届けします。

県内のスポーツ情報も随時掲載致します。



二段仕込み直火焼き製法 豚バラ つるし焼き

肉本来の旨み! 特製醤油タレで やみつきになる美味しさ!

お徳用! 豚バラ つるし焼き(切落し)

申込番号 949102 **1kg (500g×2袋) 3,500円** 税込

申込番号 949103 **2kg (500g×4袋) 5,000円** 税込

●原材料名: 豚肉(メキシコ産)、醤油、砂糖、粉末水飴、辛子、香辛料、食塩、卵黄白蛋白、コープレン、卵白しほり、おろし生姜、ネギ/調味料(有機酸)、D-リン酸ナトリウム、グリシン (一部に小麦、卵、大豆、豚肉、ゼラチンを含む) ●アレルギー特定原材料: 小麦、卵、大豆、豚肉、ゼラチン ●栄養成分表(100gあたり): エネルギー/257kcal、たんぱく質/11.0g、脂質/20.4g、炭水化物/6.1g、食塩相当量/1.5g ●保存方法: 冷蔵(-18℃以下保存) ●賞味期限: 1年

肉の専門店が厳選した豚バラ肉を使用。バラ肉の余分な脂を落とすことによって、脂がサッパリして食べ応えのある味に仕上がりました。なんと! 女性にもオススメ! 脂が苦手な方? 豚のにおいが苦手な方? まず食べてみてください。今まで食べたことのない本格つるし焼。食べて損なし!

調理方法 ●あらかじめ加熱調理してありますので、電子レンジや湯煎で温めて食べることはもちろん、自然解凍でも美味しく召し上がる事が出来ます。 ※一度解凍したものを再び冷凍すると品質が変わることがありますのでご注意ください。

読売新聞販売店 YCサポート部 〒102-8618 東京都千代田区平野町2-13-3

商品の申し込みは通話料無料のフリーダイヤルで **0120-860-432** AM9:00~PM8:00(土・日・祝日もお受けします)

送料無料で冷凍便 支払方法: 商品お届けの際に代金と引き換え(手数料無料)のクレジットカード(毎月一括払い、リボ払い、分割払い) 企業番号 **5535** 契約開始日 **9/23(水)** 商品配達 **10日前後** 締め切り後

所沢で汗流し名ランナーへ

早大

埼玉県内に練習拠点を置く大学駅伝チームを紹介する「埼玉から箱根へ」の第2回は箱根駅伝優勝13回の名門・早大です。

箱根駅伝V13回の名門

早大は、1920年の第1回箱根駅伝に出場した4校のうちの1校で東京高等師範学校(現筑波大)、明大、慶大とともに「オリジナル4」と呼ばれる。箱根駅伝で優勝(13回)、出場(90回)はともに歴代2位。名門中の名門だ。

早大競走部公式サイト「早稲田大学競走部年譜」によると、1914年に創部。当時、野球部の戸塚球場(現東京・新宿区西早稲田)で、野球部が使用していない時間に練習をしていたという。1921年に280坪トラックの専用練習場(現新宿区戸山)が完成。戦後、1957年に練習拠点は東京・保谷市(現西東京市)東伏見に移転した。東伏見時代には「千駄ヶ



谷チーム」と呼ばれる超エリート集団が存在した。伝説的な指導者の中村清監督が早大を率いていた1976~84年、マラソン15戦10勝の瀬古利彦、1984年ロス五輪1万5000mの金井豊らは東伏見ではなく、渋谷区千駄ヶ谷の中村監督宅の周辺を拠点としていた。長く、濃い歴史を持つ早大競走部が埼玉にやって来たのは1987年。新たに開設された所沢キャンパスを本拠地とした。

全天候型400坪トラック

1928年アムステルダム五輪の男子三段跳びで日本人初の五輪金メダルを獲得した大先輩の名を冠した公認

狭山湖や多摩湖周辺コースが抜群の練習環境

の全天候型400坪トラック「織田幹雄記念陸上競技場」、選手寮などが整備された。

以来、学生3大駅伝で区間賞10回の小林雅幸、箱根駅伝1区と2区で区間新記録(当時)をマークした渡辺康幸ら多くの名ランナーが所沢の地で汗を流した。今年の東京五輪男子マラソンで6位入賞を果たした大迫傑も、そのひとりだ。

「全天候型の400坪トラックでスピード練習、起伏があるキャンパス外周の1周2キロコースではロード練習ができます。狭山湖、多摩湖の周辺にもいいコースがあり、練習環境は抜群です」と相楽監督は話す。

また、キャンパス内には1周700坪のロードコースもある。「昨年はコロナ禍で多くのロードレースが中止になってしまったので、このコースを使ってハーフマラソンのタイムトライアルをしました」と相楽監督は明かした。

地元の方の応援に感謝

1999年~2003年には学生として所沢で過ごした相楽

監督は地元にも感謝する。「早大競走部が所沢に移転して30年以上が過ぎ、多くの地元の皆さんに応援してもらえるようになりました。学生におまけしてくれるお店もあります。ありがたいことです」。昨季、早大は全日本大学駅伝5位、箱根駅伝6位。主将の千明龍之佑(4年)は「今季のチーム目標は学生駅伝3冠です」と堂々と話す。大いなる野望に向けて、早大ランナーは、きょうも所沢を駆け巡っている。(竹内 達朗)



2012年12月25日当時、箱根駅伝に向けて調整する早大チーム。前列右端は大迫傑(早大所沢キャンパスで)

東京五輪男子マラソン6位入賞の大迫傑もこの地で鍛え抜く



GIANTS コンパクト ボトル ジャイアンツのロゴが入ったコンパクトボトルを5名様にプレゼントします。持ち運びができてドリンクボトルで、容量は400ml、冷凍はマイナス20度、熱湯は60度まで対応できます。ご希望の方はハガキに住所、氏名、9月号の面白かった記事、紙面に対する感想を明記の上、〒108-8448 5 報知新聞東京本社販売課(さいたま報知9月号プレゼント係)までお送りください。締め切りは9月29日(水)必着。当選者の発表は発送をもって代えます。

読者の声 鴻巣市 M・Hさん(男性) 「世の中暗い話題ばかりですが、若い世代の希望あふれる記事が多く、読んでいて胸が熱くなりました」 所沢市 K・Kさん(女性) 「いつもジュニアの活躍を微笑ましく拝見しております。コロナ感染に気を付けながら頑張っている様子ばかりです。未来のオリンピック選手目指してがんばれ!」 行田市 H・Hさん(女性) 「コロナ禍の状況下で『少年野球』『サッカー』『剣道』『ビーチバレー』と、小中学生の躍動している姿に勇気づけられます。厳しい練習をこなして大会に参加し、少しでも上を目指し、鍛えた身体と心は生涯の糧になります。一緒に大人も前を進まなくてはなりませんね」